

## 思いやりの心

先日、英国日本協会（THE JAPAN SOCIETY）を通じて英国のセントステファン ジュニアスクール(St.Stephen's C.E.Junior School) の子どもたち 30 人から激励のメッセージカードが届きました。

3 月 11 日に起きた大震災・津波の様子はテレビやインターネットを通じて、その映像が世界中に伝わりました。世界中の子どもたちも日本の惨状を目にし、自然災害の恐ろしさを感じたと同時に、被災者（日本）を気の毒に思ったに違いありません。

メッセージには、「日本で起こったことを悲しく思う」と日本を思いやる言葉と共に、募金活動のこと、見学旅行でフランスに行ったことなどセントステファン小学校の様子が記されています。

「思いは見えないけれど、思いやりは見える」は、逆に考えれば、「行動の伴わない思いは役に立たない」とも言えます。「思いやり」はもちろんのこと、思いを行動力に変える「活力のある子どもたち」に育てていきたいものです。

思いを行動に変えた例として、平山小では、最近、次のようなことがありました。小さなことですが、素晴らしいことだと思います。

☆ 5 年の〇〇さんは、バスの定期券を拾って届けてくれました。落とした高校生に無事戻りました。児童集会の時、立派な行いにみんなで拍手をしました。

☆ 5 年の〇〇さんが夕方 5 時過ぎに息を切らせて学校に来ました。下校の放送を忘れていたので来たとのこと。先生方から「よく、来たね」と褒められていました。

☆ 朝、駐車場の辺りを掃いていると、6 年の〇〇くん、〇〇くん、〇〇くん、〇〇くん、〇〇さんが手伝ってくれました。

☆ 遠くの方から、「校長先生、おはようございます！」と元気よくあいさつできる子がたくさんいます。「校長先生に勝ったあ！」「えっ！何が？」「だって、先にあいさつしたもん」という会話もあります。